

第6回赤穂海浜公園管理運営協議会 議事録

日時：令和5年7月11日（火）14:00～16:00

場所：赤穂海浜公園オートキャンプ場会議室

出席者：別添出席者名簿参照

配付資料：資料1 赤穂海浜公園管理運営協議会開催要綱

資料2 第1回から第5回協議会での意見と回答

資料3 赤穂海浜公園スケジュール

資料4-1 赤穂海浜公園魅力アップ計画とリノベーション計画の統合について

資料4-2 県立赤穂海浜公園リノベーション計画

資料5 リノベーション実施計画概要

資料6 民間活力導入に向けた条件整理（案）

資料7 イベント募集の問い合わせ及び応募状況

資料8 プレーパーク開催について

資料9 協議会の活性化について

資料10-1 入浜式塩田改修予定箇所

資料10-2 水遊び場整備予定箇所

資料10-3 赤穂海浜公園全体配管図

資料10-4 社会実験（デイキャンプへの試行的な活用）

資料11 令和4年度 樹木伐採位置図、令和5年度 樹木伐採等計画

参考資料 第5回管理運営協議会 議事録

参考資料 第5回管理運営協議会 資料

1. 開会/事務局

開会挨拶 赤穂海浜公園管理事務所所長

省略

会長

省略

2. 赤穂海浜公園管理運営協議会について/事務局

(1) 赤穂海浜公園管理運営協議会開催要綱の変更/事務局

・資料1を説明

(2) 第5回協議会での意見等、議事録の公表/事務局

・資料2、参考資料1を説明

(3) 今年度の管理運営協議会の進め方、スケジュール/事務局

・資料3を説明

3. 議事

(1) 赤穂海浜公園魅力アップ計画と兵庫県立赤穂海浜公園リノベーション計画との統合について /事務局

- ・資料4を説明

(2) 赤穂海浜公園リノベーション実施計画リノベーション実施計画の概要について/事務局

- ・資料5を説明

委員

かつて、東中学校の生徒が先生主体で海岸清掃を定期的に行っていたが、今は定期的にできないこともあり、今は砂浜が荒れ果てている。県の予算だけでは長続きしないため、地元や民間業者などから人員を集めて清掃活動を実施していく必要があると思う。

会長

汚泥の工事やコロナの影響で、暫く使わないと荒れていく。砂浜を使わないと、緑地化していくものなのか。

委員

波や風があたるので、海浜植生は成立するが、何も草が生えていないのは、不自然かもしれない。ただし、昔、何も草が生えていなかったのが、地域の人思いの中にあるかもしれない。何も生えていないとしたら、入り込む人の数が多くすぎて、植物が成立しないパターンもある。漂着ゴミがひどいのであれば、ゴミの除去をしていかないといけないと思う。

委員

唐船と丸山の2カ所の海水浴場を7月17日から8月15日まで開いているため、事前に清掃する予定である。海岸線すべてという訳にはいかないが、何かあった時は、ゴミを収集している。最近、雨が降っていたのもあり、ゴミが上がっているのかもしれない。

会長

民間活力導入の公募時に、海の環境を維持していくことを条件とするのは難しいかもしれないが、海の環境を最大限活用したサービスをご提案いただいても良いかもしれない。官民市民すべてで一番の資源を守りながら、色々な方に楽しんでもらうこともできるかもしれない。

委員

赤穂市で観光重点戦略を作成しており、市民や観光客にアンケートをとった際、市民が赤穂市で一番誇れるところは海であった。しかし、観光客からは海というワードが出てこなかった。「赤穂＝海」という形でリノベーションをしていくのは良いことだと思う。

会長

海を活用できる人は誰か。漁業の方は図面にあるようなエリアで何かできることはあるのか。また、アウトドア系の方が何かしたいといった時に、湖では安全にできるが、海ではどうか。日本海側のジオパークではシーカヤックをしている。そのようなこともできるような施設もあるかもしれない。少なくともアクセスしやすく、活動しやすいような配慮はあるのか。

委員

海の上の話であれば、イベントをされる方が、個別に相談しに来られており、出来る限りの範囲

で協力をしている。公園のリノベーションの話も含めてどうしていくかという話になると、海岸線と海の話がどうしても区別される傾向にある。我々は、海の上で生計を立てている。全てのイベントに協力するのは、難しいこともあるのでその都度の協議になるのかなというのが本音である。

会長

ハード中心の実施計画になっているが、運用の仕方もふまえて整理した方が使っていただきやすくなるかもしれない。

委員

海岸沿いに行くのは、年に1回、元日の日の出を見る時くらいである。車の入場料がとられるようになったこともあり、海岸線に行くことが無くなった。昔は、海岸へ行っていたが、今は訪れる機会が減ったため、ゴミがあっても清掃をしようという意見も上がってこない状況である。赤穂市から、観光客は赤穂市に海のイメージが無いという報告があったが、地元の人も海が一番という感覚は薄れている。海を見て、入れるようにしていただいたら、ボランティア活動に関しても入って行きやすいと思う。

会長

海は、マリンスポーツというイメージが強いが、地元の人には夏にしか来ない。公園と同じように、夏以外にも海辺や海の上を使っていたらと思う。

委員

ヘドロの浚渫工事期間が長かったため、地元住民が海岸沿いに行こうとする感覚が無くなっている。綺麗になったことを宣伝することで、行ってみようかということになると思う。

会長

ものをつくる以前に、こんな使い方ができる場所になりますよという社会実験をすると良いのではないかと。普通に歩いてもらい、歩いている時の風景写真が拡散するだけでも、社会実験になるかもしれない。

委員

日の出を見る時は1回だけなので、ゴミ拾いなど継続して海岸に集まることを、地域で考えていければ良いと思う。

会長

夏だけでなく、日常的に使える海辺を考えていきましょう。第3回の協議会時には案が確定するくらいのスケジュールで進む。また、ご意見いただく機会があると思うので、宜しくお願い致します。

(3) 民間活力の導入に向けた条件、方向性について/事務局

・資料6を説明

会長

資料6の3枚目の自由広場は更地で、事業者を誘致するエリアである。民活募集の方法には、自由広場とそれ以外のエリアで別々に募集する方法や、全てをお任せする方法もある。

委員

赤穂は、グラウンドゴルフが盛んな地域である。5月末に青空広場を借りて、グラウンドゴルフを行い、300人が参加した。陽射しが出てくる時期であるので、テント等を建てて欲しいという意見があった。新潟にある国立公園では、100メートル四方の芝生の所にグラウンドゴルフ場があり、私が訪れた時に、小学生がグラウンドゴルフをしていた。その様子を見て、広場には人が集まるなと思った。しかし、公園の青空広場は広いが、家族で遊んでいる姿を見ることが少ないので、非常に残念だなと思う。

会長

テントの貸出等、楽にできる支援を民間企業の方に行ってもらうことで、利用者が使いやすくなるかもしれない。また、民間企業の方には、サービスだけでなく、別の所で儲けてもらえるような仕組みにしていけると良い。県では、利用料金施設というのがあり、この会議室を貸すと利用料金は指定管理者が徴収するが、儲かる分、基本的な管理料を減らされる。儲かると減らされるという仕組みでは、経営努力ができない。経営提案できるような条件を設けることで、利用者への支援も見込めるかと思う。

委員

PFIで民間が施設整備をする場合、期間終了時に施設を県に譲渡しなければいけない。譲渡時の契約が難しいのがPFIの特徴だと思う。そこもふまえて県としてどう発注するかを考えていただきたい。代表企業がいて、その下に民間企業がつくような体制等、契約が煩雑にならないようにしていけると良い。

会長

宝塚の文化芸術センター前の小さな公園でさえ、まとめるだけのトップ企業の他に、協賛の大企業が幾つかあり、実際に事業を行う企業3、4社が関わっている。PFIでは、概ね15年から20年で一旦終了することがよくある。儲からないと儲からないまま20年やり続ける。途中で再投資も提案しても良いことであれば、提案が出てくる可能性がある。民間のノウハウを最大限生かすためには、自由度を上げることが一番かと思う。

委員

民間が投資したものは、民間のものである。最終的に年数が経ち、県が引き継ぐのかというのは、当初の計画か、引渡の際での決めごとになると思う。できるだけ民間として儲けてだけるように活用していただければと思う。

会長

PFIであれば、様々なバリエーションが出てくる。PARK-PFIの制度は基本的に民間のもの。基本的に無くして返すのが原則になると思う。

委員

赤穂砂丘の前に、塩生植物が幾つか残っている、あるいは植栽されているところがある。しかし、底をコンクリートで固めているため、慎重に歩かないと危なく、観察しやすい場所ではない。海賊船がある辺りの地盤を下げて、干満に応じて汽水が入ってくるようにすれば、干潟ビオトープが作れそうである。

会長

リノベーション実施計画で実施する場合は、このような環境を活用してくださいという募集の方法になると思う。一方、リノベーション実施計画で難しい場合は、場所の改変あるいは、保全方策も含めてご提案くださいということになると思うが、リノベーション実施計画の中で前提として提示できそうなのか。

事務局

個別に何ができるかまでの話が詰まっていないので、広く話を伺って、できる部分とこれはこういう形でしかできない等の仕分けをしていきたい。

会長

どこまでを条件にして募集するかは、2,3 回目の協議会で分かってくるだろう。予算のこともあろうと思うので、文書には大まかに記載にする判断もあると思う。ソフト面でも色んな活動をされているので、色んな利用がされていることを提示し、これを最低キープしたら活性化することや、新しい活動も受け入れていけるような仕組みを提案していただけるようにすると良いと思う。

委員

観覧車の跡地にはシンボリックな施設を検討されるのか。

事務局

眺望軸の重点整備範囲の中で、観覧車に代わる機能を補完できないかと考えている。

会長

実施計画で新しい投資や整備が多くあるという感じではない。

事務局

投資が必要な施設整備を1つ考えていくことになる。眺望軸に付随する民活エリアまでの繋ぎの部分含めたエリアで、眺望を1つの要件として考えていければと思う。

会長

わくわくランドの跡地は、遊園地のままにするのか、あるいは遊園地を無くして、何か提案を求めるエリアにするのか。

事務局

観覧車跡地の面積が非常に小さく、ゴーカートコースの横の植栽を少し広げたくらいのスペースしかない。わくわくランドのエリアだけでなく、幅広いエリアで考えていきたい。

会長

使い方を変えるというのは、民間活力活用エリアであればできると思うが、そこではないエリアで、指定管理者に求めるのであれば、今の施設は活用することが基本かと思う。例えば PARK-PFI のように施設を作ることや、特定公園施設という、施設で儲けたものを還元する公園エリアを定めて、管轄場所を決めることができたりする。民間活力活用エリアの中だけ提案を求めるのか、わくわくランドまで広げて提案も求めるのかというのは、発注の方法による。特に頑張らないといけなところを定めたほうが良いと思う。わくわくランドは、今までの施設があるので、やりにくさもあり、やりやすさもある。どのような条件を付けるのか。あるいは、付けない方が色んな提案ができるのかもしれない。

委員

わくわくランドは、協会の持ち物である。もし、協会が争いに敗れたら、今いる業者さんもアトラクションを撤去して、新しい業者さんが何かするということになるかと思う。

会長

協会さんと話し合っ、新しい事業者がお金を払うので、残してほしいということもあるかもしれない。そのあたりは、協議が必要なことであるので、あまり前提をこちらで決められるものではない。

委員

業者さんが魅力的なものを持ってきて据えるくらいが、現実的な話だと思う。県の持ち物でないので、条件を付けにくい。

委員

協会に民間も入ることがあり得るかもしれない。

委員

選択肢としてはあるかもしれないが、協会として何か投資して新しくシンボリックなものを作ることは100%ない。

会長

多くの場合、地元団体の取り合いになる。地元団体がこの良い提案をしてくれた団体と協力してくれると、ベストなのだと思うことがあるが、特定の団体としか協力しないようなことが自然に起きてしまう。地元の団体の方にはどこでも協力いただきたい。そうでないと、基本方針の3つは達成できない。募集の際の伝え方に留意いただければと思う。

委員

営利目的になるがフリーマーケット的なことは、この公園ではできないのか。

委員

占用使用許可をもらって場所代を払えばできるはず。

会長

フリマは、資源の循環の観点からは、新しいものを買うよりは環境に良い。それを理念として実施している方もいるが、如何に利益を上げるか利益目的の人もいる。利益目的だから地代をもらう、公共的なものだから地代をもらわないという判断をするのは難しい。

委員

これまで実施していたが、コロナで実施できていなかったもので、このような動きはまた出てくるかと思う。

委員

イベント時に広報宣伝をやっていたと言うが、あまりイベントの情報を聞かない。地元の高齢者は、SNSを使わないので、そのあたりに配慮いただきたい。高齢者でもこの辺りを散歩している人は多いので、散歩のついでに寄ってみようとする人もいると思う。

会長

基本方針に、多様な主体の参画とある。多様な利用者に対してそれに応じた広報を提案してくださいということは求めても良いかと思う。

委員

恐竜展は沢山の人が行っていたようだが、どんな効果があったのか。

事務局

4月22日にオープンして現在までトータルで1万1千人に入園いただいた。恐竜22体を赤穂広場の東側の道に設置し、人感センサーで感知して恐竜の鳴き声やリアルな動きを体験していただいている。スマホのアプリで、恐竜のクイズに答えると、恐竜の缶バッジがもらえることもしている。缶バッジにも幾つか種類もあるので、それらを集めるために、リピーターも来ていただいている。

委員

静かな公園も良いが、イベント等をして海浜公園をもっと知っていただきたい。

(4) 地域や企業・団体、大学等との連携強化、イベント募集状況報告、
プレイパークについて/事務局

・資料7、資料8を説明

(5) 公園の活性化について/事務局

・資料9を説明

委員

前回のヒアリングをあのままで終わらすのではなく、実際に動いていただき、それを応援していくということをぜひやってほしい。

委員

イベント募集の問合せ及び応募状況の資料には、窓口ではなく、ネットでの問合せだけ載っているのか。

事務局

ネットだけ載せている。

会長

窓口に行く方が簡単な人は、窓口へ行って話してもらい、ネットが楽な人はそちらを使用してもらえれば良いと思う。資料には、窓口とネットどちらも全部載せてください。

委員

窓口で顔を合わせる時に、グラウンドゴルフのために芝を刈ってほしい話をしていると、実際に芝を刈っていただき、参加者が非常に喜んでいた。

会長

ホームページの公園利用のバナーをクリックしたら、まだしてはいけないこととできることしか出てこないが、どこで応募できるのか。

事務局

トップ画面の最新情報のところに表示されている。

委員

最新情報の枠だけスクロールしないと表示されないの、画面全体をスクロールすると表示されなかった。

会長

若い人ではスマホしか見ないかもしれないので、全然気づかずに終わるかもしれない。できる限りハードル低く応募できるように改善してください。また、公園でどんなことをしても良いのかが分かるようにして、色んなことが生み出されるようにできれば良いと思う。

委員

イベント募集の様式がダウンロードできるようになっているが、フォームに直接入力できたら良いと思う。

会長

参画と協働のプラットフォームでご紹介いただいたものは、この指とまれ方式である。やりたい人がやり、皆で協力をする。紹介いただいたものは、毎月第1日曜日に開催しているが、行って誰も来てなかったらどうしようというドキドキもある。前回のように赤穂プレゼンみたいな感じでお話いただき、今回はどうやったらできるか、何回か実行しながら、赤穂なりのものを考えていければと思う。プレーパークもプラットフォームのテーマの1つになればよいのではないだろうか。

事務局

プレーパークについては、プレゼンしていただけたと思う。

4. その他

(1) 施設整備実施状況等について/事務局

・資料10を説明

(2) 今年度の樹木伐採予定の報告

・資料11を説明

委員

資料 11 の伐採予定の図について、枯松伐採箇所と書かれている範囲全部のマツを伐採しているわけではないですよ。この図を見る人がこれ全部切ったのとなってしまうので、この範囲の立木の何%くらいの伐採率ですということを示せたら良いと思う。

事務局

立ち枯れしている数十本だけを伐採している。

委員

景観的に問題無いということは十分承知しているので、情報の提供の仕方として気を付けていただければと思う。

会長

このような景観にするために、目標林を定めてそれに向かって除去していき、足りない部分はこのように除去していくということを実施計画の中で示せたら良いかと思う。

会長

デイキャンプ実施の場所は、最終的にデイキャンプ場になるということではないですよ。自由広場でどんな環境だったらできるか実験するという理解で良いですよ。どんな環境だったらできるか、園内の他の所でもすることも考えて、今回の場所で実験をするということですね。やってみたら良いが、ここは他の方が開発するから使えなくて、園内のどこもできなかったことが無いように。ここでできたら、ここで実現しましょうという想定をして、次の段階ではそこでもやってみるということも考えていただければと思う。

委員

前回、集いの広場に電源があればいろいろ持ち込めるよという話があったが、集いの広場のトイレの隣から電源をとることはできないのか。

事務局

基本的に今回の整備はトイレのみである。リノベーション計画に電源を整備するのもあるので、今後の検討課題になる。

委員

デイキャンプの時、トイレはどうされるのか。

事務局

新たに設置するという事は考えていない。わくわくランドのトイレが一番近いので、そこを利用してもらうことになるかと想定している。

委員

海洋科学館の入館者数が減っているのでは何かイベントを実施しなければいけないなと思っている。入浜式塩田の改修スケジュールが、今年度いっぱいまでになっているが実際にはいつまでか。

事務局

今年度中を予定しているが、具体的にいつまでかははっきりと決まっていない。

会長

科学館は市の施設であるが、利活用に向けて何か条件はあるか。

委員

指定管理で出している施設なので、今後何かお伝えできればと思う。

会長

期間を揃える等、一体化ができれば簡単かもしれない。何かありましたら、次回ご意見お願いします。

(3) 次回開催について

今回は9月頃の開催予定で7月に日程調整を行う。

令和5年7月11日(火)に開催された第6回赤穂海浜公園管理運営協議会議事録は、上記の通りであると認め署名する。

議事録署名人

会 長 赤澤 宏樹

委 員 茨野 好正